

## I - i 地域密着型介護サービスに関する調査結果

- 調査の趣旨 地域密着型介護サービスの「従うべき基準」に伴い全国の自治体で生じている課題について調査・分析する。
- 調査の対象 全都道府県及び全市区町村
- 調査時点 平成30年3月
- 回答数 1,788地方自治体のうち、1,569地方自治体より回答（回答率87.8%）
  - ・都道府県 47団体中47団体（回答率100%）
  - ・市・特別区 814団体中754団体（回答率92.6%）
  - ・町村 927団体中768団体（回答率82.8%）

※「指定権限なし」「支障事例なし」を理由として回答票を提出しないと連絡のあった団体も回答数に含んでいる。

# 1. 地域密着型介護サービスに関する課題（総括）

## ポイント

- 市区町村の約90%（1,522団体中1,363団体）が地域密着型介護サービスに関して何らかの課題があると考えている。  
特に市区（754団体中706団体）については約94%にのぼる。
- 夜間対応型訪問介護（約79%）、看護小規模多機能型居宅介護（約76%）、定期巡回・随時対応型訪問介護看護（約72%）、地域密着型特定施設入所者介護（約70%）を中心に、課題があると考えている団体が多い。
- 1,185市区町村（約78%）はサービス（事業）を実施できていないことが課題と考えており、特に夜間対応型訪問介護（約71%）、地域密着型特定施設入所者介護（約64%）、看護小規模多機能型居宅介護（約64%）、定期巡回・随時対応型訪問介護看護（約54%）が未実施であることを課題とする団体が多い。
- 527市区町村（約35%）が施設運営を担う事業者の不足等で施設が設置できないことを課題と考えている。  
「全国的な介護人材不足のため、どの事業所においても人材確保に非常に苦慮している」、「開設事業者の公募を行ったが、施設経営や人材確保の難しさを理由に応募する事業者がなかった」などが具体的課題として挙げられている。
- 都道府県は、定期巡回・随時対応型訪問介護看護（100%）、看護小規模多機能型居宅介護（約92%）、夜間対応型訪問介護（約58%）について課題があると考えている団体が多い。また、課題別の回答では、事業者の不足等で施設が設置できないこと（約69%）のほか、サービス受益に地域偏在があること（約69%）を課題と考えている。

# (1) 各自治体の地域密着型介護サービスに関する課題認識

## ① 市区町村 (② + ③)

(単位：団体)

選択肢 (複数回答可)		施設類型								団体数 (重複調整済)	
		定期巡回・ 随時対応型 訪問介護 看護	夜間 対応型 訪問介護	地域 密着型 通所介護	認知症 対応型 通所介護	小規模 多機能型 居宅介護	認知症対応 型共同生活 介護	地域密着型 特定施設 入所者介護	地域密着型 介護老人福 祉施設入所 者生活介護		看護小規模 多機能型 居宅介護
①	利用者 (希望者) は増加しているが、施設の設置が追いついていない。	76	32	30	41	79	134	15	78	56	271
②	施設運営を担う事業者がない、施設の必要性の住民理解が進まない等の理由で、施設が設置できない。	368	282	52	147	215	69	147	137	290	527
③	一部の地域では施設を利用できているが、その他の地域では利用できる施設が存在しないため、地域によってサービスの受益の偏在が生じている。	89	24	40	58	129	38	9	12	48	367
④	事業者によってサービス水準に大きな差があり、サービス水準の均一化を進める必要がある。	12	1	111	24	57	61	4	12	5	162
⑤	サービスの内容が不適切な事業者が存在し、悪質な事業者を排除していく必要がある。	4	2	54	7	7	16	1	2	2	64
⑥	サービスに対する利用者の要求が高くなってきているため、事業全体のサービス内容を見直し、質を向上させていく必要がある。	16	3	77	35	68	70	13	34	12	130
⑦	サービス (事業) を実施していない。	825	1076	161	437	323	70	972	574	974	1185
⑧	その他	52	27	125	85	106	122	29	62	30	221
団体数 (重複調整済)		1096	1209	536	709	760	483	1073	792	1157	1363

## ② うち市・特別区

(単位：団体)

選択肢（複数回答可）		施設類型									団体数 （重複調整済）
		定期巡回・ 随時対応型 訪問介護 看護	夜間 対応型 訪問介護	地域 密着型 通所介護	認知症 対応型 通所介護	小規模 多機能型 居宅介護	認知症対応 型共同生活 介護	地域密着型 特定施設 入所者介護	地域密着型 介護老人福 祉施設入所 者生活介護	看護小規模 多機能型 居宅介護	
①	利用者（希望者）は増加しているが、施設の設置が追いついていない。	50	15	7	17	47	73	6	58	40	160
②	施設運営を担う事業者がない、施設の必要性の住民理解が進まない等の理由で、施設が設置できない。	209	139	8	51	94	23	45	52	153	309
③	一部の地域では施設を利用できているが、その他の地域では利用できる施設が存在しないため、地域によってサービスの受益の偏在が生じている。	73	18	22	48	103	27	4	8	41	307
④	事業者によってサービス水準に大きな差があり、サービス水準の均一化を進める必要がある。	9	0	92	20	47	44	2	9	4	126
⑤	サービスの内容が不適切な事業者が存在し、悪質な事業者を排除していく必要がある。	3	2	52	7	7	15	1	2	2	60
⑥	サービスに対する利用者の要求が高くなってきているため、事業全体のサービス内容を見直し、質を向上させていく必要がある。	14	2	51	25	44	38	9	21	10	77
⑦	サービス（事業）を実施していない。	300	521	10	85	39	3	458	196	432	609
⑧	その他	33	10	45	48	52	45	10	25	17	94
団体数（重複調整済）		501	591	217	255	319	213	500	324	554	706

### ③ うち町村

(単位：団体)

選択肢（複数回答可）		施設類型									回答数 (重複調整済)
		定期巡回・ 随時対応型 訪問介護 看護	夜間 対応型 訪問介護	地域 密着型 通所介護	認知症 対応型 通所介護	小規模 多機能型 居宅介護	認知症対応 型共同生活 介護	地域密着型 特定施設 入所者介護	地域密着型 介護老人福 祉施設入所 者生活介護	看護小規模 多機能型 居宅介護	
①	利用者（希望者）は増加しているが、施設の設置が追いついていない。	26	17	23	24	32	61	9	20	16	111
②	施設運営を担う事業者がない、施設の必要性の住民理解が進まない等の理由で、施設が設置できない。	159	143	44	96	121	46	102	85	137	218
③	一部の地域では施設を利用できているが、その他の地域では利用できる施設が存在しないため、地域によってサービスの受益の偏在が生じている。	16	6	18	10	26	11	5	4	7	60
④	事業者によってサービス水準に大きな差があり、サービス水準の均一化を進める必要がある。	3	1	19	4	10	17	2	3	1	36
⑤	サービスの内容が不適切な事業者が存在し、悪質な事業者を排除していく必要がある。	1	0	2	0	0	1	0	0	0	4
⑥	サービスに対する利用者の要求が高くなってきているため、事業全体のサービス内容を見直し、質を向上させていく必要がある。	2	1	26	10	24	32	4	13	2	53
⑦	サービス（事業）を実施していない。	525	555	151	352	284	67	514	378	542	576
⑧	その他	19	17	80	37	54	77	19	37	13	127
回答数（重複調整済）		595	618	319	454	441	270	573	468	603	657

#### ④ 都道府県

(単位：団体)

選択肢（複数回答可）		施設類型									回答数 （重複調整済）
		定期巡回・ 随時対応型 訪問介護 看護	夜間 対応型 訪問介護	地域 密着型 通所介護	認知症 対応型 通所介護	小規模 多機能型 居宅介護	認知症対応 型共同生活 介護	地域密着型 特定施設 入所者介護	地域密着型 介護老人福 祉施設入所 者生活介護	看護小規模 多機能型 居宅介護	
①	利用者（希望者）は増加しているが、施設の設置が追いついていない。	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1
②	施設運営を担う事業者がない、施設の必要性の住民理解が進まない等の理由で、施設が設置できない。	8	4	0	0	4	1	0	1	8	9
③	一部の地域では施設を利用できているが、その他の地域では利用できる施設が存在しないため、地域によってサービスの受益の偏在が生じている。	7	3	1	1	2	1	1	1	7	9
④	事業者によってサービス水準に大きな差があり、サービス水準の均一化を進める必要がある。	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1
⑤	サービスの内容が不適切な事業者が存在し、悪質な事業者を排除していく必要がある。	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1
⑥	サービスに対する利用者の要求が高くなってきているため、事業全体のサービス内容を見直し、質を向上させていく必要がある。	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1
⑦	サービス（事業）を実施していない。	2	3	1	2	1	1	1	1	2	3
⑧	その他	1	0	0	0	1	0	0	0	1	3
回答数（重複調整済）		13	7	3	3	6	4	2	3	12	13

## 2. サービスの普及・充足についての課題

### ポイント

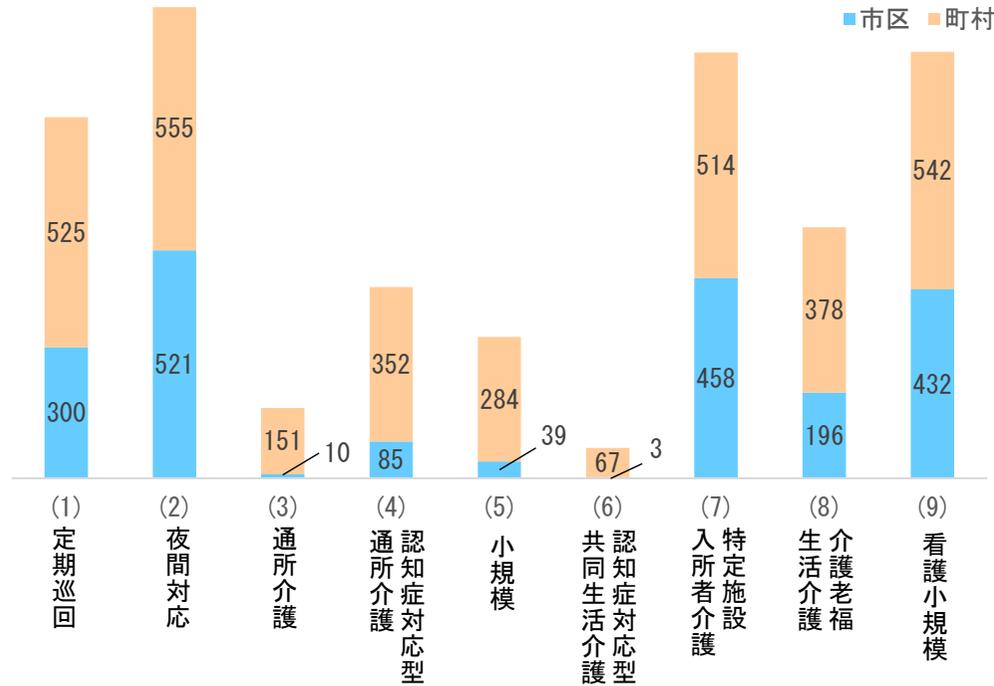
- 市区町村内でいずれかのサービス（各施設類型）が実施されていないとの回答が1, 185市区町村（86.9%）からあった。特に夜間対応型訪問介護（1,076団体）、看護小規模多機能型居宅介護（974団体）、地域密着型特定施設入所者介護（972団体）についての回答が多かった。
- 全ての施設類型において、利用希望に対して施設設置が追いついていない市区町村が一定数あった。271市区町村において施設設置が間に合っておらず、特に認知症対応型共同生活介護（134団体）、小規模多機能型居宅介護（79団体）、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護（78団体）、定期巡回・随時対応型訪問介護看護（76団体）等で施設設置が追いついていない市区町村が多い。
- 市区町村内でのサービスの地域偏在があるとの回答が367市区町村からなされている。
- 527市区町村が施設運営を担う事業者がない等の理由で施設が設置できないことを課題としている。特に定期巡回・随時対応型訪問介護看護（368団体）、看護小規模多機能型居宅介護（290団体）、夜間対応型訪問介護（282団体）についての回答が多い。

以降のグラフにおいて、（1）～（9）が指すサービスは下記のとおり。

- （1）定期巡回・随時対応型訪問介護看護
- （2）夜間対応型訪問介護
- （3）地域密着型通所介護
- （4）認知症対応型通所介護
- （5）小規模多機能型居宅介護
- （6）認知症対応型共同生活介護
- （7）地域密着型特定施設入所者介護
- （8）地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
- （9）看護小規模多機能型居宅介護

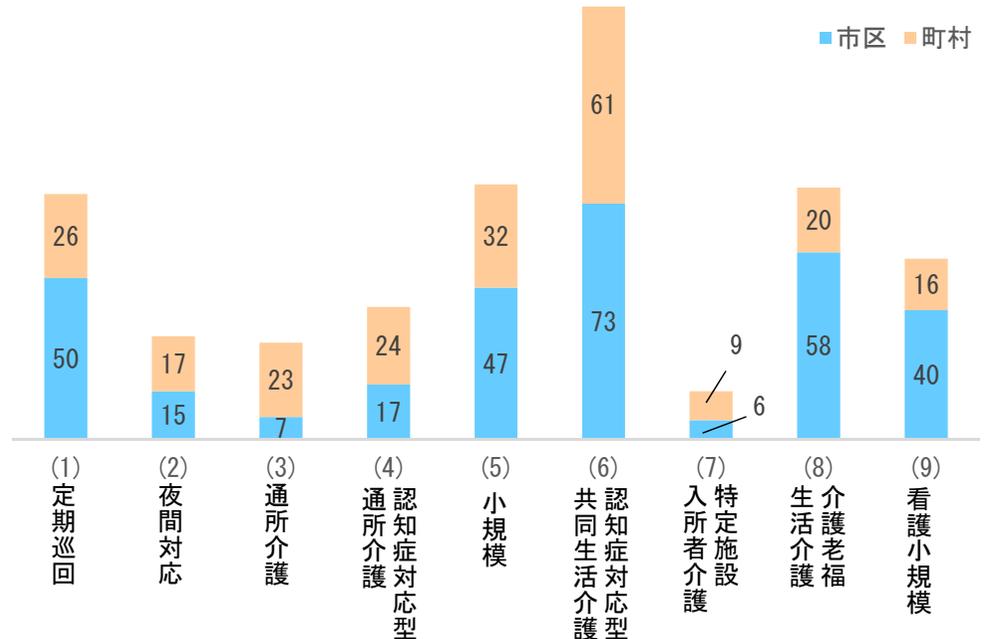
# (1) サービスの普及・充足に関する課題認識

「選択肢⑦ サービス（事業）を実施していない」ことを課題とする市区町村数



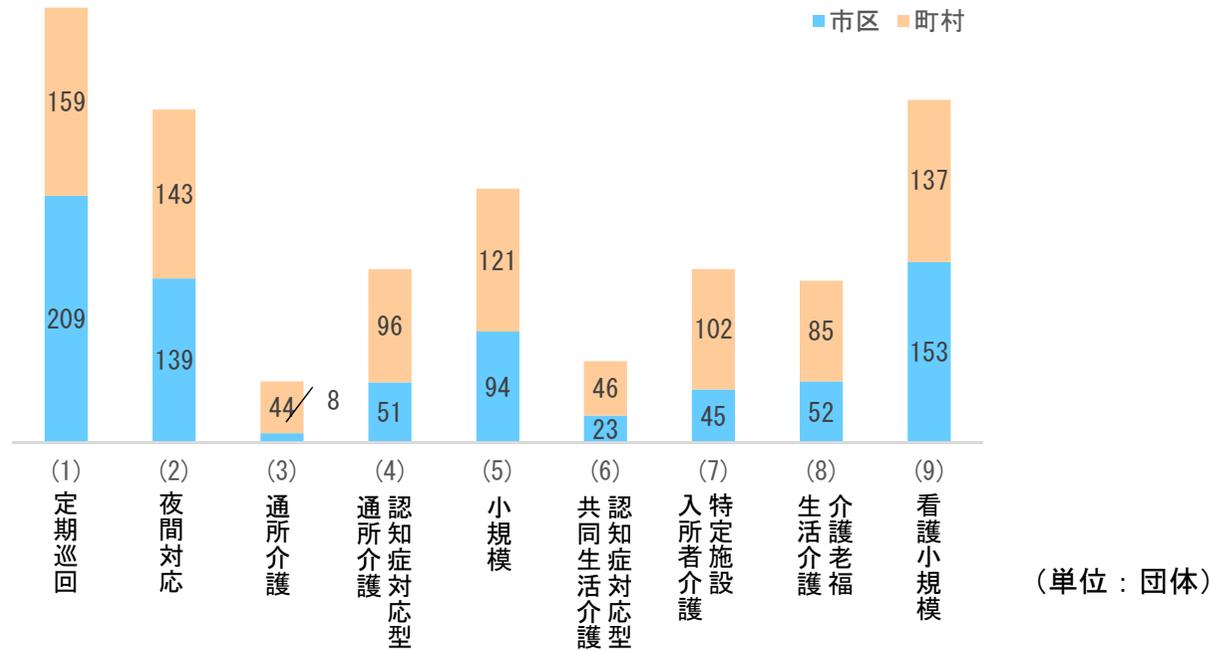
(単位：団体)

「選択肢① 利用者（希望者）は増加しているが、施設の設置が追いついていない」ことを課題とする市区町村数

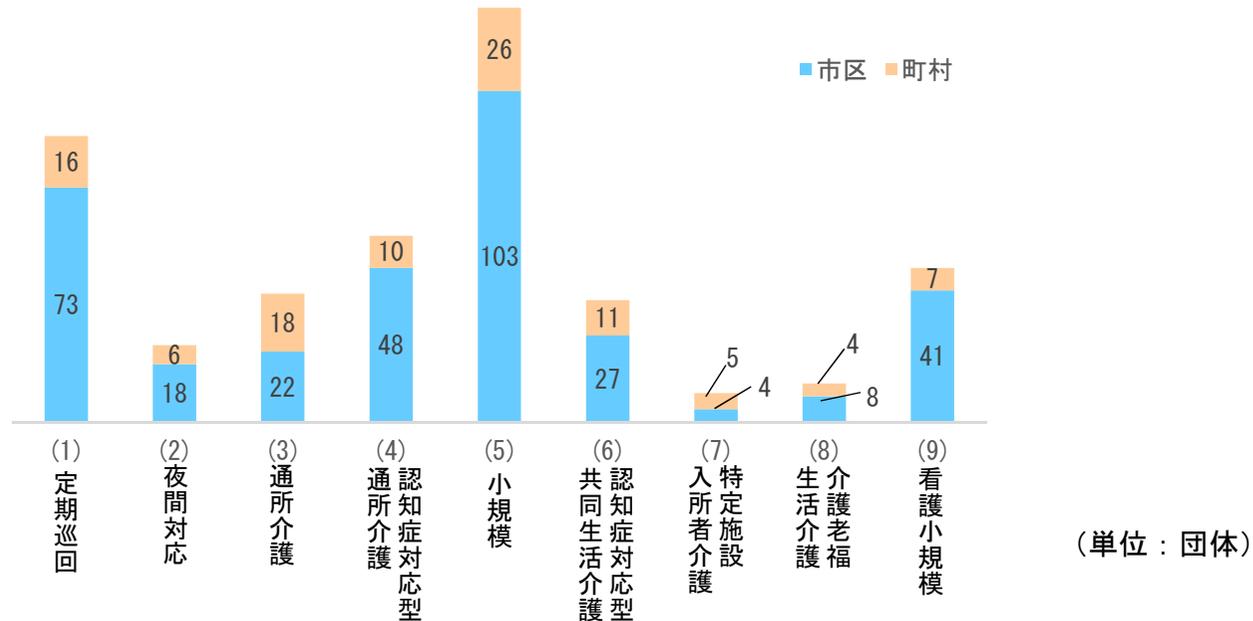


(単位：団体)

「選択肢② 施設運営を担う事業者がない、施設の必要性の住民理解が進まない等の理由で、施設が設置できない」ことを課題とする市区町村数



「選択肢③ 一部の地域では施設を利用できているが、その他の地域では利用できる施設が存在しないため、地域によってサービスの受益の偏在が生じている」ことを課題とする市区町村数



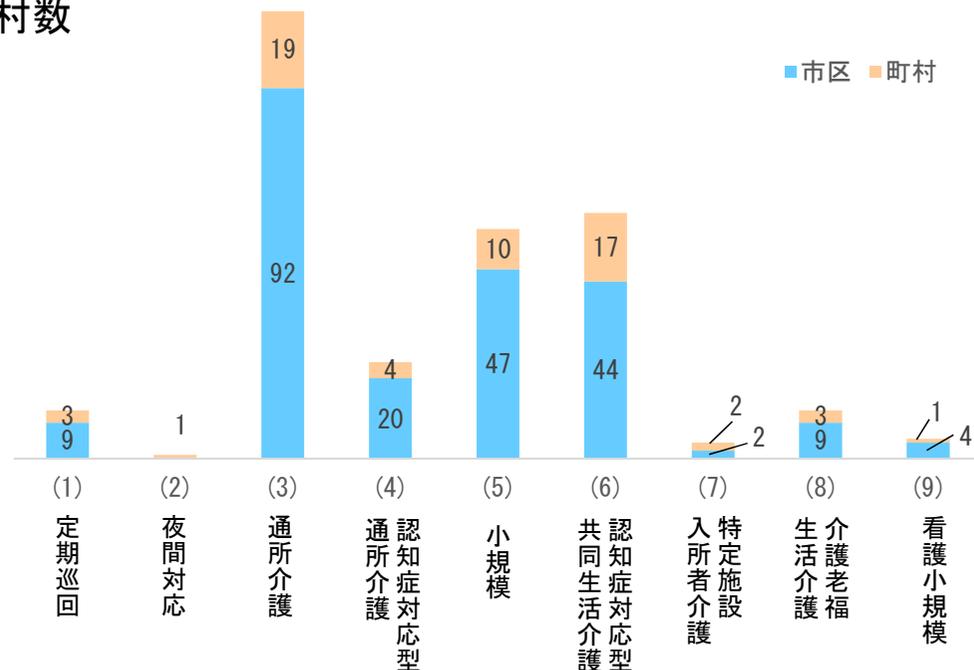
### 3. サービス水準の向上・均一化についての課題

#### ポイント

- 事業者によるサービス水準の差や、サービスの内容が不適切な事業者が存在するとの回答した市区町村は比較的少数で、とりわけ町村では少ない。施設類型別では、回答が地域密着型通所介護に集中しており（④：111団体、⑤：54団体）、通所介護の質の確保に課題を抱えている団体が多い。
- サービスに対する利用者の要求が高くなっていることを受けて、質の向上の必要性を感じるとの回答は地域密着型通所介護（77団体）、認知症対応型共同生活介護（70団体）、小規模多機能型居宅介護（68団体）に多い。

#### (1) サービス水準の向上・均一化に関する課題認識

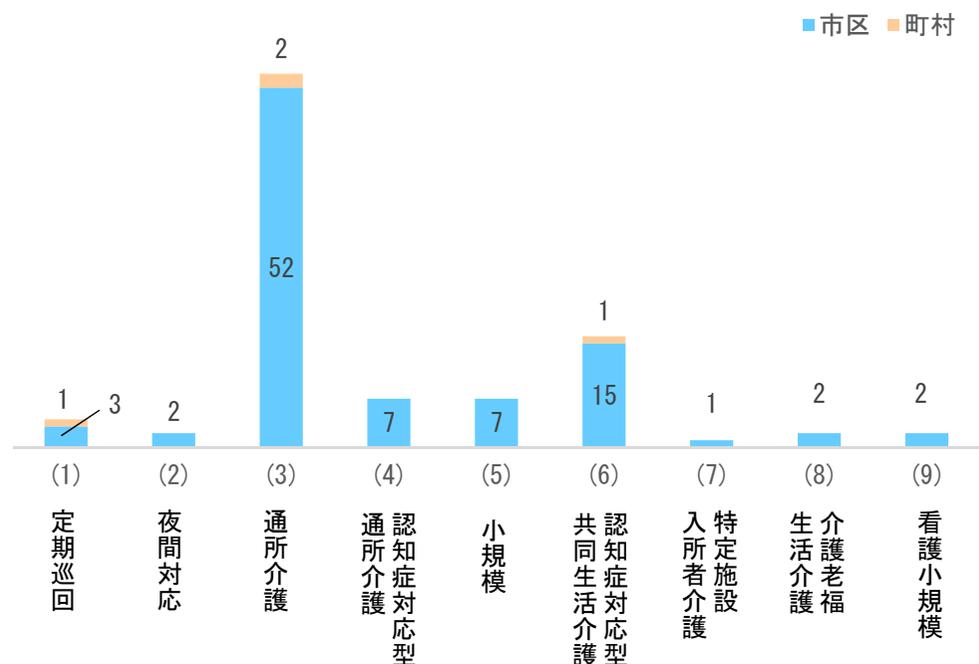
「選択肢④ 事業者によってサービス水準に大きな差があり、サービス水準の均一化を進める必要がある」ことを課題とする市区町村数



(単位：団体)

「選択肢⑤  
市区町村数

サービスの内容が不適切な事業者が存在し、悪質な事業者を排除していく必要がある」ことを課題とする



「選択肢⑥  
市区町村数

サービスに対する利用者の要求が高くなってきているため、事業全体のサービス内容を見直し、質を向上させていく必要がある」ことを課題とする

